

全鉄連流通動態調査結果表 2020年1月分

(2020. 2. 25)

全国鉄鋼販売業連合会

品 種	地 区	前月在庫量		仕入量		販売量		当月在庫量		
		12月実績	前月比	1月実績	前月比	1月実績	前月比	1月実績	前月比	
異形棒鋼	東京	6,164	100.5%	39,057	93.6%	38,712	92.9%	6,509	105.6%	
	大阪	2,855	98.8%	15,974	107.1%	16,197	108.4%	2,632	92.2%	
	愛知	5,829	102.8%	7,182	118.1%	7,135	120.4%	5,876	100.8%	
	計	14,848	101.0%	62,213	99.2%	62,044	99.2%	15,017	101.1%	
形鋼	山形鋼	東京	18,838	106.3%	8,622	86.9%	8,637	98.1%	18,823	99.9%
		大阪	20,648	102.5%	7,427	80.4%	8,372	95.9%	19,703	95.4%
		愛知	13,068	99.8%	6,228	97.8%	6,248	97.7%	13,048	99.8%
		計	52,554	103.1%	22,277	87.3%	23,257	97.2%	51,574	98.1%
	溝形鋼	東京	16,618	107.8%	5,622	79.7%	5,728	98.0%	16,512	99.4%
		大阪	11,840	106.0%	4,024	62.7%	5,302	92.2%	10,562	89.2%
		愛知	9,027	103.3%	4,234	90.7%	4,820	110.1%	8,441	93.5%
		計	37,485	106.1%	13,880	76.5%	15,850	99.2%	35,515	94.7%
	H形鋼	東京	32,717	102.9%	16,883	102.8%	16,231	104.7%	33,369	102.0%
		大阪	43,939	105.2%	24,205	92.0%	22,678	93.9%	45,466	103.5%
		愛知	24,382	111.5%	14,590	86.9%	12,326	86.4%	26,646	109.3%
		計	101,038	105.9%	55,678	93.5%	51,235	95.0%	105,481	104.4%
合 計		191,077	105.2%	91,835	89.0%	90,342	96.3%	192,570	100.8%	
コ ラ ム	東京	8,608	97.4%	2,639	88.5%	2,755	85.7%	8,492	98.7%	
	大阪	13,884	103.9%	3,414	75.1%	3,424	85.0%	13,874	99.9%	
	愛知	2,356	78.3%	986	138.5%	960	70.3%	2,382	101.1%	
	計	24,848	98.5%	7,039	85.5%	7,139	83.0%	24,748	99.6%	
軽量C形鋼	東京	2,925	94.8%	2,402	98.4%	2,118	81.4%	3,209	109.7%	
	大阪	2,889	91.8%	1,758	99.4%	1,533	75.7%	3,114	107.8%	
	愛知	2,799	101.3%	1,449	85.3%	1,459	87.7%	2,789	99.6%	
	計	8,613	95.8%	5,609	95.0%	5,110	81.3%	9,112	105.8%	
総 計		239,386	103.8%	166,696	92.6%	164,635	96.1%	241,447	100.9%	

(注) ①単位トン ②調査対象企業 東京30 大阪20 愛知16 合計66社

※この資料は経済産業省、鉄流懇関係者、報道機関のみ配布しています。

〔調査内容変更について〕

昭和48年4月より開始された本調査は、平成12年4月実績発表まで27年間同一フォーム内容で実施され、鋼材二次流通の実態を表す資料とされていた。しかし、この間に調査品目の中には流通性がなくなった品種、また、未調査品種ながら、市場性が高い品種など鋼材市場においてさまざまな品種の盛衰があった。そこで全鉄連常任理事会において、本調査の見直しが提議された。そして、平成12年5月分実績より従来の流通動態調査を改訂し、上記のとおり発表することとなった。

その変更内容は①調査対象品種にコラムを追加②調査対象品種よりプレーン、不等辺山形鋼、I形鋼、デッキ・キーストンを除外する③契約残調査を取り止める、以上3点である。また、本調査を「特約店流通動態調査」と称していたが、これを「全鉄連流通動態調査」と呼称変更した。これは調査機関である当会が全国鉄鋼販売業連合会に名称変更したことによる。また、平成13年5月実績をもって調査対象品種変更後1年が経過した。この間、暫定的な数量をもって時系列表及びグラフを作成していたが、それを改め月表の数値と一致するように改訂した。